

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公表番号】特表 2014-520433 (P2014-520433A)

【公表日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報 2014-044

【出願番号】特願 2014-513446 (P2014-513446)

【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 L 7/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 1/00

H 0 4 J 15/00

H 0 4 L 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 3 日 (2015.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基地局に使用されるための方法であって、

フレームベースの無線通信システムのサブフレーム (subframe) のスロット内の移動局に複数のプライマリ同期チャネル (PSC: Primary Synchronization Channel) シンボルを送信する段階と、

前記サブフレームの前記スロット内の前記移動局に複数のセカンダリー同期チャネル (SSC: Secondary Synchronization Channel) シンボルを送信する段階と、を含み、

ここで、ギャップ (gap) は、前記サブフレームの前記スロット内の複数の SSC シンボルから前記 複数の PSC シンボルを分離し、

前記ギャップは、少なくとも一つの直交周波数分割多重 (OFDM: Orthogonal Frequency Division Multiplexing) シンボルの長さを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記サブフレームの前記スロット内の前記移動局に複数のブロードキャスト制御チャネルシンボルを送信する段階をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記複数のプライマリ同期チャネルシンボルは前記スロット内の連続するシンボルを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

複数のサンプルのそれぞれを含むセグメントのシーケンスを繰り返すことによって前記複数の連続するプライマリ同期チャネルシンボルを生成する段階をさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボル内のセグメントの数は、部分的に前記それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボルの C P の長さに基づくことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記複数の連続するプライマリ同期チャンネルシンボルは、選好の受信機ビームを決定するために前記移動局によって使用することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記プライマリ同期チャンネルシンボルの検出は、複数の受信機ビームをそれぞれ使用する前記移動局によって試みられ、

前記プライマリ同期チャンネルシンボルに関連づけられた受信された信号強度が所定のしきい値より大きい場合、前記移動局は、前記プライマリ同期チャンネルが検出されたと決定するものであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

基地局において、

フレームベースの無線通信システムのサブフレームのスロット内の移動局に複数のプライマリ同期チャンネル (P S C : P r i m a r y S y n c h r o n i z a t i o n C h a n n e l) シンボルを送信し、前記サブフレームの前記スロット内の前記移動局に複数のセコンダリー同期チャンネルシンボルを送信するように構成された送信機経路を含み、

ここで、ギャップ (g a p) は、前記サブフレームの前記スロット内の複数の S S C シンボルから前記 複数の P S C シンボルを分離し、

前記ギャップは、少なくとも一つの直交周波数分割多重 (O F D M : O r t h o g o n a l F r e q u e n c y D i v i s i o n M u l t i p l e x i n g) シンボルの長さを有することを特徴とする基地局。

【請求項 9】

前記送信機経路は、前記サブフレームの前記スロット内の前記移動局に複数のブロードキャスト制御チャンネルシンボルを送信することを特徴とする請求項 8 に記載の基地局。

【請求項 10】

前記複数のプライマリ同期チャンネルシンボルは前記スロット内の連続するシンボルを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の基地局。

【請求項 11】

前記送信機経路は、それぞれ複数のサンプルを含むセグメントのシーケンスを繰り返すことによって前記複数の連続するプライマリ同期チャンネルシンボルを生成することを特徴とする請求項 8 に記載の基地局。

【請求項 12】

それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボル内のセグメントの数は、部分的に前記それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボルの C P の長さに基づくことを特徴とする請求項 11 に記載の基地局。

【請求項 13】

前記複数の連続するプライマリ同期チャンネルシンボルは、選好の受信機ビームを決定するために前記移動局によって使用することを特徴とする請求項 8 に記載の基地局。

【請求項 14】

前記プライマリ同期チャンネルシンボルの検出は、複数の受信機ビームをそれぞれ使用する前記移動局によって試みられ、

前記プライマリ同期チャンネルシンボルに関連づけられた受信された信号強度が所定のしきい値より大きい場合、前記移動局は、前記プライマリ同期チャンネルが検出されたと決定するものであることを特徴とする請求項 8 に記載の基地局。

【請求項 15】

移動局において、

フレームベースの無線通信システムのサブフレームのスロット内の基地局から複数のプ

ライマリ同期チャンネル (PSC: Primary Synchronization Channel) シンボルを受信し、前記サブフレームの前記スロット内の前記基地局から複数のセコンダリー同期チャンネルシンボルを受信するように構成された受信機経路を含み、

ここで、ギャップ (gap) は、前記サブフレームの前記スロット内の複数のSSCシンボルから前記 複数のPSCシンボルを分離し、

前記ギャップは、少なくとも一つの直交周波数分割多重 (OFDM: Orthogonal Frequency Division Multiplexing) シンボルの長さを有することを特徴とする移動局。

【請求項 16】

前記受信機経路は、前記サブフレームの前記スロット内の前記基地局から複数のブロードキャスト制御チャンネルシンボルを受信することを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。

【請求項 17】

前記複数のプライマリ同期チャンネルシンボルは、前記スロット内の連続するシンボルを含むことを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。

【請求項 18】

前記複数の連続するプライマリ同期チャンネルシンボルは、それぞれ複数のサンプルを含むセグメントのシーケンスを繰り返すことによって生成されることを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。

【請求項 19】

それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボル内のセグメントの数は、部分的に前記それぞれのプライマリ同期チャンネルシンボルのCPの長さに基づくことを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。

【請求項 20】

前記受信機経路は、前記複数の受信された連続するプライマリ同期チャンネルシンボルに基づいて選好受信機ビームを決定することを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。

【請求項 21】

前記受信機経路は、複数の受信機ビームのそれぞれを使用して前記プライマリ同期チャンネルシンボルを検出しようと試み、

前記プライマリ同期チャンネルシンボルに関連付けられた受信された信号強度が所定のしきい値より大きい場合、前記プライマリ同期チャンネルが検出されたと決定することを特徴とする請求項 15 に記載の移動局。